

地 ～工場および検査棟を増設～ 域経済の浮揚発展に期待

7月24日、市役所で伊藤精工(株)と九州伊藤精工(株)との立地協定式が行われました。この協定は、今後の取引先からの受注増に対応する工場などを建設すると同時に、新たな生産設備を導入するにあたり、建設・操業が円滑に行われるよう相互協力体制を構築するものです。



▲左から、鹿児島県商工労働水産部産業立地課課長補佐 園田 英信氏、伊藤精工(株)専務取締役 牧野 裕明氏、市長、九州伊藤精工(株)取締役 中田 隆久氏

全 ～門園博徳さん(知覧町瀬世)～ 国市区選管連合会表彰

8月5日、市役所において全国市区選挙管理委員会連合会表彰の伝達式が行われ、市長から門園博徳委員長へ表彰状が伝達されました。今回の表彰は、



▲門園委員長は「選挙は民主主義の根幹をなすものであるという意識の向上を図り、選挙人の真意が反映される投票行動のために尽力したい」と話しました。

5年以上選挙管理委員会委員長の職を務め、選挙の管理執行などの功績が顕著であったことが認められたものです。

み ～夏休み木工教室 in 南九州～ みんなで木工製作

8月16日、「夏休み木工教室 in 南九州」が諏訪運動公園で開催。小・中学生と保護者ら約170人が、県・かごしま森林組合・市職員の指導のもと木工製品作りに挑戦。折りたたみテーブルや折りたたみイスを作り、保護者と子どもたちが木にふれあう絶好の機会となりました。



▲暑い中、みんなと一緒に一所懸命取り組みました。

鹿 ～第36回全日本武術太極拳選手権大会～ 児島県代表として出場

7月に岡山県で開催された第36回全日本武術太極拳選手権大会に南九州市太極拳連盟の選手6人が出場し、集団演武の部で念願の3位入賞を果たしました。同連盟はこれまで10年間集団演武の部では4位が最高位でしたが、今回初めての3位入賞を果たし、喜びの表彰台でした。



▲入賞の盾を手にし、選手たちは喜びを分かち合っていました。

世 ～県青少年国際協力体験事業帰国報告～ 界へ飛び出せスタディーツアー

8月7日、鹿児島県青少年国際協力体験事業に参加した川辺高校3年生の萩原華音さんが帰国報告のため、教育委員会を訪れました。萩原さんは7月21日から28日までカンボジア王国に派遣され、現地での交流や青年海外協力隊員の活動現場視察や協力活動を行いました。



▲萩原さんは「新しいところにも、ためらいなく踏み込めるようになった。今後は世界で活躍できる人材になりたい」と話しました。

夏 ～第32回えいのゴッソイまつり～ の夜空に音楽と光り

8月18日、額娃運動公園でえいのゴッソイまつりが開催されました。恒例となっているゴッソイ焼きの無料配布やステージイベントなど沢山の催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。ラストの花火では音楽に合わせた打ち上げに皆声を上げながら見入っていました。



▲音楽に合わせて火柱も上がり、会場は大いに盛り上がりました。

第

～平和へのメッセージ from 知覧～

30回スピーチコンテスト



【中学生の部】最優秀賞
松下 華奈 さん
(志学館中等部1年)

8月15日、第30回スピーチコンテストが開催され、中学生の部で最優秀賞に選ばれた松下華奈さんのスピーチを原文のまま紹介します。

「心の千羽づる」

私は中学生になった。親からは今は、りょうで生活を送っている。学校生活や、りょうの生活になれはじめての日曜日。私は、一本の映画を見に行った。その映画は、発光病という病気になった女の子が主人公で、「生きたくても、生きられない」という悲しい話だった。主人公のやさしい性格と、いっしょうけん命生きようとする姿に、私は心をうごかされ涙があふれてきた。涙はずっと止まらなかった。私は、この時「命の大切さを知らないのかもしれない」「自分の命を大切にしていかなければならない」と感じた。

実は、去年の春も同じようなことを感じた日があった。それは、小学校六年生のときにあった修学旅行だ。私の小学校は小さな学校だった。したがって五、六年生合同で知覧特攻平和会館に行くことになった。その時の担任の先生がこう言った。

「六年生で、千羽づるを作りましょう。」

私も、クラスの子もだれ一人作ったことのない千羽づるを「作る」と言ったのだ。みんなは、とても苦い顔をしていた。でも、その日の昼休みから折りづる作りがスタートした。私のクラスは、十一人。とても大変な作業だった。たまに、遊びに行く人も出てきだし、クラスの雰囲気は、どんよりとした空気がずっと続いていった。たまに、「なんで、だれのためにこんなことをしているのだろうか。」と疑問に思った時もあった。しかし、みんなががんばってなんとか無事完成させることができた。だが、クラスの空気は、ずっと変わらないまま続いていた。

とうとう、修学旅行の日がやってきた。バスに、自分たちで作った少し不格好な千羽づるをつめこみ、知覧に向かった。

一時間くらいバスに乗っていると、知覧特攻平和会館につき、バスから飛びおりた。平和会館の中に入ると外とは、まったくちがう空気が、ただよっていた。私は少しこの空気になれなくて、心臓がバクバクしていたことをハッキリとおぼえている。展示品がある部屋に入ると、私は言葉を失った。そこには特攻隊の方々の写真や手紙、日記帳、飛行機や洋服などたくさん物が置いてあった。その一つ一つから、見ているだけで戦争のこわさや命の大切さなどを感じることができたのだ。それを見てみると、「なんで、だれのために」と思いながら千羽づるを折っていたことを、後悔した。本当ならば、一羽一羽思いをこめて作らないといけなかった。今そう思っているとおそい。私は、せめてわたし時だけでも、と思い「命をずっと大切にし、戦争が今後、起こらないように心の中でちかい、千羽づるをわたした。千羽づるが少し前より、キラキラとかがやいているように見えた。

その後も、一つ一つ展示品を見て行ったり。やはり、胸がくるしくなっていた。いままであじわったことのない胸のくるしみに涙があふれてきた。

私は、この日から命の大切さについて深く考えることが多くなった。今まで、まったく意識していなかった「命」について、考えることができたのは、知覧特攻平和会館に行くことができなかったら、なかったことかもしれない。千羽づるを作ることがなかったら、気持ちや考え方が変わらなかったかもしれない。私は、

そんな「知覧特攻平和会館」と「千羽づる」を一生忘れないと思う。そして、私の心の中で、何かを変えてくれたことにとても感謝している。私は、お母さんからさずかったこの大切な命を決してむだにはしない。

最後の一秒まで……。

審査結果

中学生の部

最優秀賞 松下 華奈 さん
志学館中等部1年 (鹿児島市)

優秀賞 白澤 絋彩 さん
鹿児島修学館中学校2年 (鹿児島市)

特選 熊本 璃子 さん
河頭中学校2年 (鹿児島市)

特選 末吉 愛澄 さん
郡山中学校2年 (鹿児島市)

高校生の部

最優秀賞 岩崎 楓子 さん
川内高等学校2年 (鹿児島県)

優秀賞 原田 幸歩 さん
喜界高等学校2年 (鹿児島県)

特選 脇田 颯人 さん
鹿児島高等学校2年 (鹿児島県)

一般の部

最優秀賞 阿部 松代 さん
(神奈川県)

優秀賞 藤崎 慶子 さん
(鹿児島県)

特選 板橋 祐稀子 さん
(宮城県)

特選 岡崎 利香 さん
(福岡県)